

第11次一宮市交通安全計画(案)市民意見提出制度に寄せられた意見と意見に対する考え方

募集期間 令和3年12月1日～令和4年1月4日

提出件数 8件(8人)

	意見の概要	意見に対する考え方
1	<p>交差点の隅切りギリギリに建物を建てると見通しが悪くなる。交差点付近に家屋を建てないで、庭など見通しのよいスペースにすればと交通事故抑止になり、緑化スペースとすれば、温暖化の抑制になる。 そうしたことを推奨すべく、減税措置など講じる案を提案する。</p>	<p>貴重なご意見として伺いました。今後の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>陥没した道路の修繕など、交通安全に必要な道路の維持管理を引き続きお願いしたい。スマホを操作しながら自転車を運転していた高校生とぶつかりそうになりヒヤッとさせられた。高校生に対して自転車の安全利用啓発と自転車利用時のヘルメット着用を推奨してほしい。</p>	<p>道路交通安全を確保するため、関係機関と連携し、交通安全施設の整備、道路の維持管理に引き続き取り組んでまいります。また、本市は通勤通学をはじめ、日常の移動手段として自転車を利用する市民の割合が高いことから、警察をはじめ関係機関と連携し、自転車利用時のヘルメットの着用をはじめとした自転車の安全利用をより一層推進してまいります。</p>
3	<p>通学路に設置されている点滅信号を普通信号にしてもらいたい。カーブがきつく自動車のスピードも多い所であり、普通信号の設置が難しいのであれば横断歩道を設置してもらいたい。</p>	<p>個別の交通安全対策については、小学校や地域町内会などからご要望やご意見をいただいて進めています。対策の内容が信号機の改築や横断歩道の新設など交通規制を伴う場合は、警察関係者と連携して、交通安全対策を進めていきます。</p>
4	<p>交通事故に関する報道のあり方について。交通事故を減らすという観点からすれば、交通事故の当事者を実名で報道することを優先するより、事故原因を詳細に報じるべきではないか。個々の交通事故の発生状況を分析し、どうすればその事故を防ぐことができたのかという具体的な情報を発信しなければ事故は減らない。また、車だけでなく、バイク、自転車、歩行者へ道路交通法遵守の教育を徹底してもらいたい。</p>	<p>報道のあり方について、ご意見として伺いました。市民一人一人の交通安全意識とマナーの向上を図るため、警察や関係機関と連携し、家庭、学校、職場等において、年齢や生活環境に応じた交通安全教育を推進してまいります。</p>
5	<p>市内の交通事故の死傷者数は大きく減少しており、一宮市の取り組みは評価しますが、依然として、市民の交通安全のマナーが悪いことが大きな課題であると思う。 朝から警官の方が違反を取り締まる様子も見かけるが、そのような中でも交通ルールやマナーを守らない人が後を絶たない。子は親の行いを見て育つものなので、学校、自治体、職場単位などで交通安全教室を行い、大人の交通ルールの遵守とマナーの向上を図ることで、交通事故による死傷者を減らすことができると思う。</p>	<p>市民一人一人の交通安全意識とマナーの向上を図るため、警察や関係機関と連携し、家庭、学校、職場等において、年齢や生活環境に応じた交通安全教育を推進してまいります。</p>
6	<p>市民の交通安全確保のために、種々施策を検討・実行されていることが伺えました。交通安全は日々の積み重ねが重要です。第11次の計画の中で、対策・施策・整備が数多く挙げられております。これらの中で従来からの継続案件が多いと思いますが、新規に織り込まれた対策・施策等について、強調されては如何でしょうか？</p>	<p>従来からの諸施策に加え、自転車の安全利用の推進や通学路の安全確保や環境整備の推進など、新たに取り組む施策については、「第3 道路交通の安全についての対策」の項中、「3 交通事故のない環境をつくるために重視すべき事項」に盛り込み、重点的に推進してまいります。</p>
7	<p>道路環境を整備するにあたり、他の自治体の実情を見学し参考としたらどうか。そのうえで、道路を使う市民、特に歩行者の立場に立った道路構造などの整備を行ってほしい。</p>	<p>計画を遂行するにあたり参考とさせていただきます。</p>
8	<p>当市は地方部に比べ公共交通機関が発達しているとはいえ車中心の社会であり、その中で高齢者など幅広い世代が安全に暮らしてゆける施策が求められる。近年自転車の安全利用に対する意識が高まっている一方、歩道での危険な走行、スマートフォンを操作しながらの運転など交通マナー(ルール)が浸透していない状況が散見される。自転車利用時のヘルメットの着用、ルールの周知・啓発、指導取り締まりを強化してほしい。また、子供が屋外で安全に遊べる場所の拡充をお願いしたい。</p>	<p>「自転車の安全利用」「子どもの遊び場の確保」については、計画中の「第4 講じようとする施策」に基づき、それぞれ推進してまいります。</p>